

GUARDIANWALL Version 7.2 リリースノート

GUARDIANWALL V7.1.02 for Linux から GUARDIANWALL V 7.2.00 for Linux において、以下の機能追加および修正／変更を致しました。

1. 新機能、機能改善

(1) 監査機能

i .監査レポート機能

監査レポート機能において以下の機能を追加致しました。

- ・メール監査統計レポート項目に保留メール処理状況を追加致しました。
- ・前週の保存メールを対象として、監査統計レポートを作成可能に致しました。
- ・以下の指定方法で、操作ログ締切日を選択できるように致しました。
 - レポート作成日を指定
 - メール受信期間の終了日からの日数を指定
 - 各メールの受信時刻からの日数を指定

ii .メール監査統計データ表示機能

メール監査統計データの表示において、以下の機能を追加致しました。

- ・表示範囲を全体または、特定管理者のみの統計情報とする機能。
- ・指定した評価実施率等を満たすかどうかによって、背景を色分けする機能。
- ・印刷用に別ウィンドウで表示する機能。その際、メール監査統計情報に関するコメントを入力して印刷する機能。

iii .操作記録統計情報

操作記録統計情報に以下のレポート項目を追加致しました。

- ・ログイン累計
- ・ポリシー設定累計
- ・アカウント操作累計
- ・起動／停止累計
- ・スケジューラーサービス累計

(2) 管理サーバーの冗長構成

2 台の管理サーバーを、それぞれ管理サーバー（アクティブ機）、管理サーバー（スタンバイ機）として構成し、アクティブ機に障害が発生した場合に備えて、設定やデータを定期的にスタンバイ機にコピーすることを可能に致しました。また、アクティブ機での障害発生時には、スタンバイ機をアクティブ状態に切り替えて運用を継続することができ、管理サーバーの可用性を高めることが出来るように致しました。

(3) バックアップ機能強化

テープへバックアップを行う際、以前に記録されたバックアップデータを上書きせず、追加保存できるように致しました。また、全文検索システムがインストールされている場合、バックアップ／リストアの対象データとして、全文検索インデックスを選択できるように致しました。

(4) 利用者権限インポート機能

情報管理者、部門情報管理者、システム管理者のアカウント作成及び更新時に、既存アカウントの権限を反映させる機能を追加致しました。

(5) 各種 OSS の追加およびバージョンアップ

以下の OSS を追加およびバージョンアップ致しました。

- ・Apache/1.3.41
- ・mod-ssl/2.8.31-1.3.41
- ・PHP/5.2.6
- ・libpng/1.2.29
- ・OpenSSL/0.9.8h
- ・PostgreSQL/8.1.13
- ・Smarty/2.6.19
- ・Libxml2/2.6.32
- ・libarchive/2.2.8
- ・SQLite/3.5.9
- ・p7zip/4.58

(6) キーワード検査強化

キーワード検査モジュール変更をすることで、以下の機能を強化致しました。

- ・フレーズキーワードの利用(キーワードに空白文字を加えることができます)
- ・数字の正規化(例:半角の1、全角の1、①、一、壹を同一視します)

(7) フィルタリングルール条件強化

i. フィルタリング対応圧縮ファイルの追加

以下の圧縮、アーカイバ形式に対応致しました。

ZIP, LHA, RAR, CAB, GZIP, BZIP2, Z, TAR, 7ZIP, ARJ, RPM,
DEB, ISO, MSI, HQX, AS, TNEF, SZDD, PACK

各圧縮ファイルについて、以下の機能が利用できます。

- ・圧縮ファイルを展開しての検査。
- ・パスワード有無の判定。
- ・アーカイバ形式については、アーカイブ内のファイル名の取得。
- ・展開後の各ファイルに対するサイズ制限の実施。

ii. ファイル判定の強化

検査可能なアプリケーションファイルと展開可能な圧縮ファイルについて、拡張子ではなく、ファイルのヘッダ情報に基づいて判定できるように致しました。

また、検査配送ルール数値条件の以下の関数に、ファイルタイプ判定パラメータを指定できるように致しました。

KEYWORD, REGEX, ATTACHMENT, SIZE, DPINFO

iii. グループ管理機能

検査配送ルールの差出人条件、宛先条件、数値条件部で、1つの条件式の中に複数グループの指定を可能に致しました。また、グループ定義のデフォルトの最大アドレス数制限値を、1024 から 8000 に変更致しました。

(8) 保存メール、リストアメール閲覧画面

検索結果一覧画面から、選択したメールの監査登録を一括して実施できるように致しました。また、検索結果タブの切り替えで、検索実行時に指定した条件を条件入力画面に表示するように致しました。

(9) 保留メール管理機能

保留メール管理において以下の表示機能を追加致しました。

- ・各メールの閲覧・監査状況を表示する状態列の表示機能
- ・各列の項目名について、昇順または降順にメールの一覧をソートして表示する機能

(10) 保存メール、リストアメール一括ダウンロード機能

保存メール、リストアメール閲覧において、検索された全てのメールを一括でダウンロードできるように致しました。

(11) LDAP 連携 (Active Directory 含む)

LDAP サーバからメールアドレスをインポートする際、LDAP ツリー上のサブツリーを指定可能とするように LDAP 連携を強化致しました。

また、スケジューラを使用して指定日時に LDAP の再検索を行いアドレスリストを更新する機能の追加、管理サーバーの LDAP 関連機能の強化を致しました。

(12) その他改善項目

その他、以下の項目を改善致しました。

- ・権限更新時に変更箇所がない時のメッセージを変更致しました。
- ・キャンセルボタン押下時の動作を統一致しました。
- ・管理サーバーと検査サーバーの通信の際、IP アドレスでの制限を行うことでサーバー間の認証を強化致しました。
- ・データベースリストア時の不整合をなくすために、現データベースバージョンより新しいバージョンで取得したダンプファイルをリストアできないように致しました。
- ・スケジューラジョブおよびログ収集プロセスの起動／終了イベントをイベントログ（notice レベル）へ記録するように致しました。
- ・配送ルールの数値条件部の address/domain 関数で、アドレス、ドメインの集計時に英大小文字を同一視するように致しました。
- ・Uuencode 文字列に空白文字を使う古い形式にも対応するように致しました。
- ・4KB を超える SMTP メッセージの強制改行方法を変更し、不正な形式のメールに対しても、ヘッダと本文の境界の認識性を高めました。

2. 修正

(1) LDAP サーバ設定の認証ボックスが逆に表示される不具合

管理システム各種設定権限が閲覧権限のみの利用者が管理サーバーパラメータの設定画面を表示した場合に、LDAP サーバ設定の「認証」のチェックボックスが、実際の設定とは逆の状態に表示されてしまう不具合を修正致しました。

(2) アカウント追加の際、1 と 01 が同一視されていた不具合

利用者管理にてアカウントを追加する際、アカウント名で'1'と'01'等が同一視され、'1'が登録されている場合、'01'や'001'などを新規に登録できない不具合を修正致しました。

(3) リストア用のリスト作成時のメッセージに関する不具合

テープからのリストアで「リストを作成する」を選択し実行した時に表示されるメッセージの不具合を修正致しました。

(4) 特定日のプルダウンリスト表示に関する不具合

メール監査統計レポートおよびウェブ監査統計レポートのレポート作成日が、ある特定日(3, 5, 7, 10, 12 月の最終日)の場合、監査統計データ選択のプルダウンリスト内表示の不具合を修正致しました。

(5) 特定の利用者がグループ管理画面から内容を表示するとエラーが起こる不具合

参照権限のみの利用者がグループ管理画面より内容を表示すると、スクリプトエラーが発生する不具合を修正致しました。

(6) KEYWORD 関数による row または row+指定時の不具合

検査配送ルールの数値条件部の KEYWORD 関数に row あるいは row+を指定し、情報検査ログに検出キーワードを記録する場合に、row カウント対象外の別条件セットの検出キーワードも記録してしまう不具合を修正致しました。

(7) Acrobat 9 で作成された PDF ファイル検査時の不具合

Acrobat 9 で作成された PDF ファイルをキーワード検査する場合、その PDF ファイルが作成された時の Acrobat 9 の設定によって、キーワード検査の結果が異なってしまう不具合を修正致しました。

(8) 特定条件下でクリアボタンをクリックした際、誤った条件式が入力される不具合

検査配送ルールの数値条件にある簡易設定のキーワードで、クリアボタンをクリックした後に決定ボタンをクリックすると、誤りのある条件式が入力されてしまう不具合を修正致しました。

(9) 保存メール閲覧画面でページリンクにエラーが発生する不具合

保存メールの閲覧画面で、メールの表示件数とページリンクにエラーが発生する不具合を修正致しました。

(10) 保存メール検索画面でクリアボタンを使用しても、月がクリアされない不具合

保存メールの簡単検索画面において、検索条件として入力した月、日のうちクリアボタンでは日しかクリアされない不具合を修正致しました。

(11) 配送ログが存在しない場合にリストア閲覧ができない不具合

リストアログ閲覧においてリストアデータに配送ログが存在しない場合、他のリストアログがあってもリストアログを閲覧できない不具合を修正致しました。

(12) 個人情報検査の項目カウント数が意図しない結果になる不具合

個人情報検査機能において、管理サーバーのファイルテスト結果と検査サーバーの dpinfo 関数での個人情報項目カウント数が一致しない結果になる場合がある不具合を修正致しました。

(13) keyword 関数で row+使用時にバッファオーバーフローの可能性がある不具合

keyword 関数で row+使用時に検出 ID 種数の最大値より全パートの重複排除した検出 ID 種数が大きい場合、バッファオーバーフローする可能性がある不具合を修正致しました。

3. システム要件

GUARDIANWALL V 7.2.00 for Linux を利用するには、以下の要件を満たしたハードウェア／ソフトウェアが必要となります。

【Linux 版サーバ条件】

OS	: RedHat Enterprise Linux AS/ES 4, RedHat Enterprise Linux 5 RedHat Enterprise Linux Advanced Platform 5
CPU	: 上記 OS が動作する IA-32 (Pentium 以上)、 Intel64 プロセッサ (Itanium2 は非対応)

【管理用クライアント条件】

OS	: Windows XP/Vista
ウェブブラウザ	: Internet Explorer 6.0sp2, 6.0sp3, 7.0sp1
その他条件	: ブラウザの JavaScript が有効であること

以上